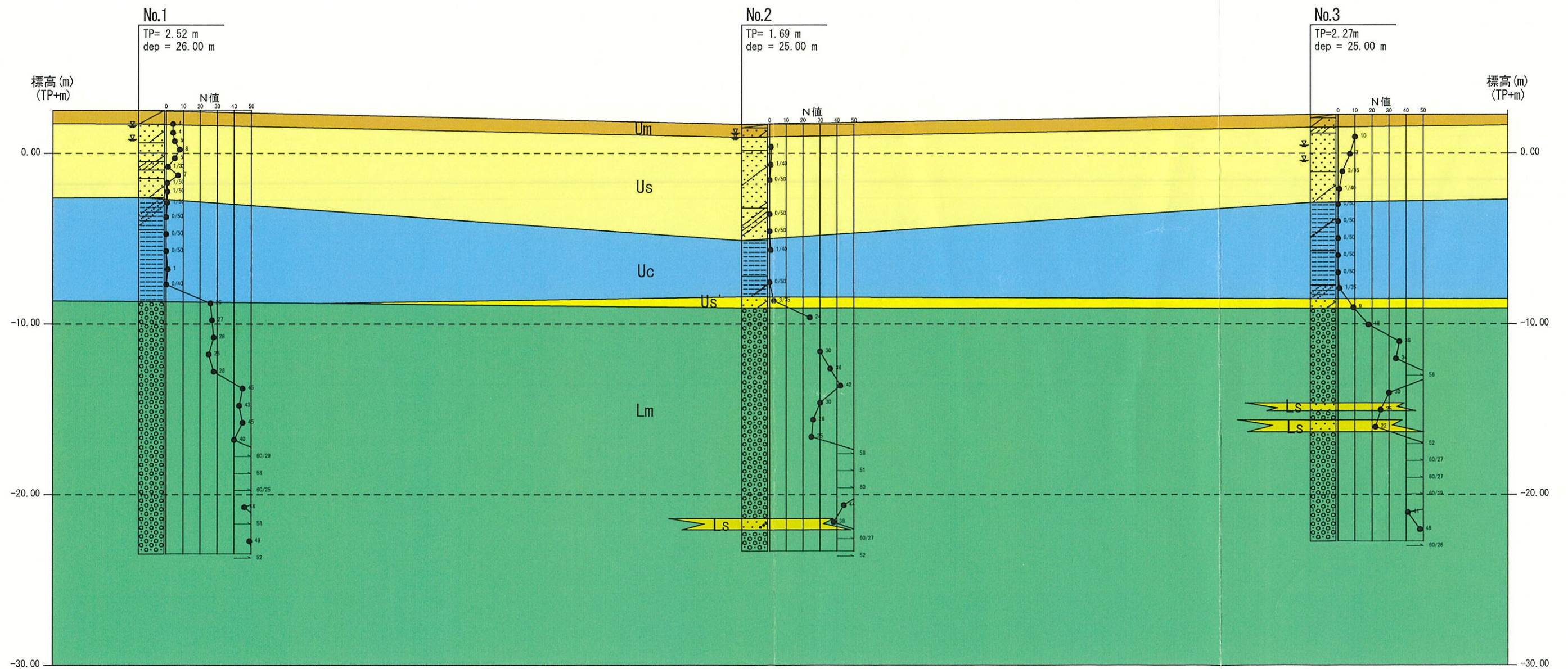


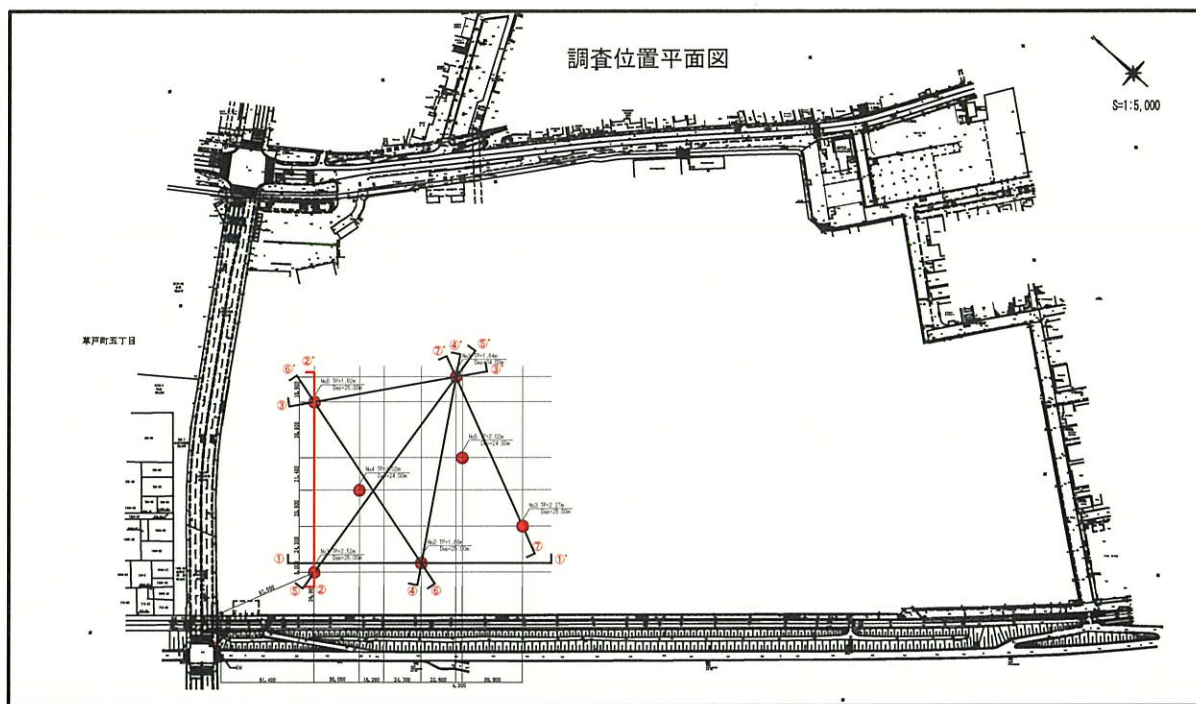
調査地の地盤構成図

地質時代	地質区分	記号	層相	層厚 (m)	N値(回)		
現生代	第四紀	沖積世	最上部層	Um	調査地の最上部層を構成する福山競馬場内の埋土で、マサ土や均一な細砂で構成される。	0.60~2.00	37 (1箇所のみ)
			上部砂層	Us	標高1.7~0.5m以深より分布する砂層で、芦田川の旧河道堆積層。細砂~粗砂からなり、貝殻片や有機物を混入。	3.90~6.05	0~15 (平均1~3)
			上部粘土層	Uc	標高-2.6~-5.1m以深より分布する粘性土で、貝殻片、有機物を混入する非常に軟質な粘性土。	3.30~6.35	0~3 (平均0~1)
			下部砂層	Us'	最下部層砂礫層との漸移層としてBorNo. 2~5地点で確認され、分布は局部的である。	0.55~2.15	0~9 (平均1~3)
	洪積世	最下部層	Lm	芦田川の河床堆積層の砂礫で、マトリックスは粘土混り粗砂。礫はφ5~40mmの亜円礫主体。砂層や粘土層をレンズ状に不規則に挟む。	11.65~	12~60以上 (平均30~50程度) ばらついている	



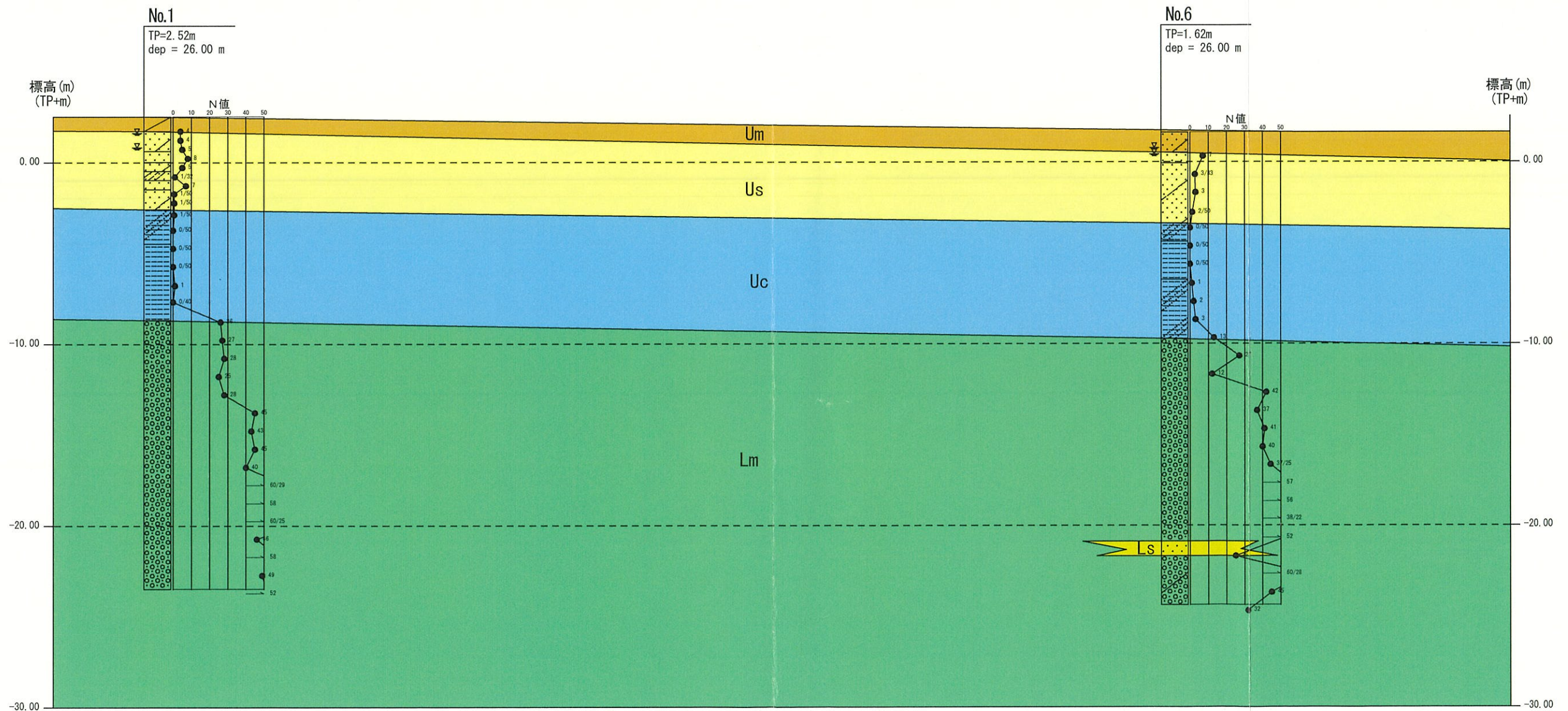
①-①' 推定地盤成層図

(SH=1:500 SV=1:250)



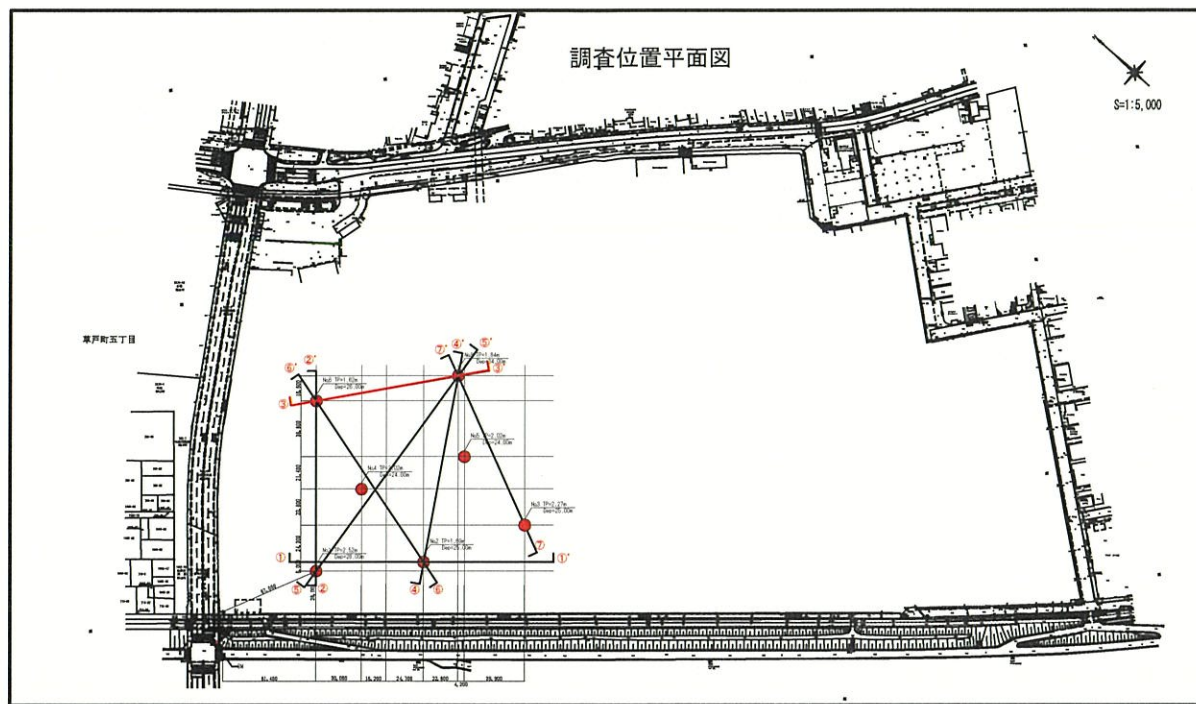
調査地の地盤構成図

地質時代	地質区分	記号	層相	層厚 (m)	N値(回)
現生代 第四紀	沖積世	最上部層	Um	調査地の最上部層を構成する福山競馬場内の埋土で、マサ土や均一な細砂で構成される。	0.60~2.00 37 (1箇所のみ)
		上部砂層	Us	標高1.7~0.5m以深より分布する砂層で、芦田川の旧河道堆積層。細砂~粗砂からなり、貝殻片や有機物を混入。	3.90~6.05 0~15 (平均1~3)
		上部粘土層	Uc	標高-2.6~-5.1m以深より分布する粘性土で、貝殻片、有機物を混入する非常に軟質な粘性土。	3.30~6.35 0~3 (平均0~1)
		下部砂層	Us'	最下部層砂礫層との漸移層としてBorNo. 2~5地点で確認され、分布は局部的である。	0.55~2.15 0~9 (平均1~3)
	洪積世	最下部層	Lm	芦田川の河床堆積層の砂礫で、マトリックスは粘土混り粗砂。礫はφ5~40mmの垂円礫主体。砂層や粘土層をレンズ状に不規則に挟む。	11.65~ 12~60以上 (平均30~50程度) ばらついている



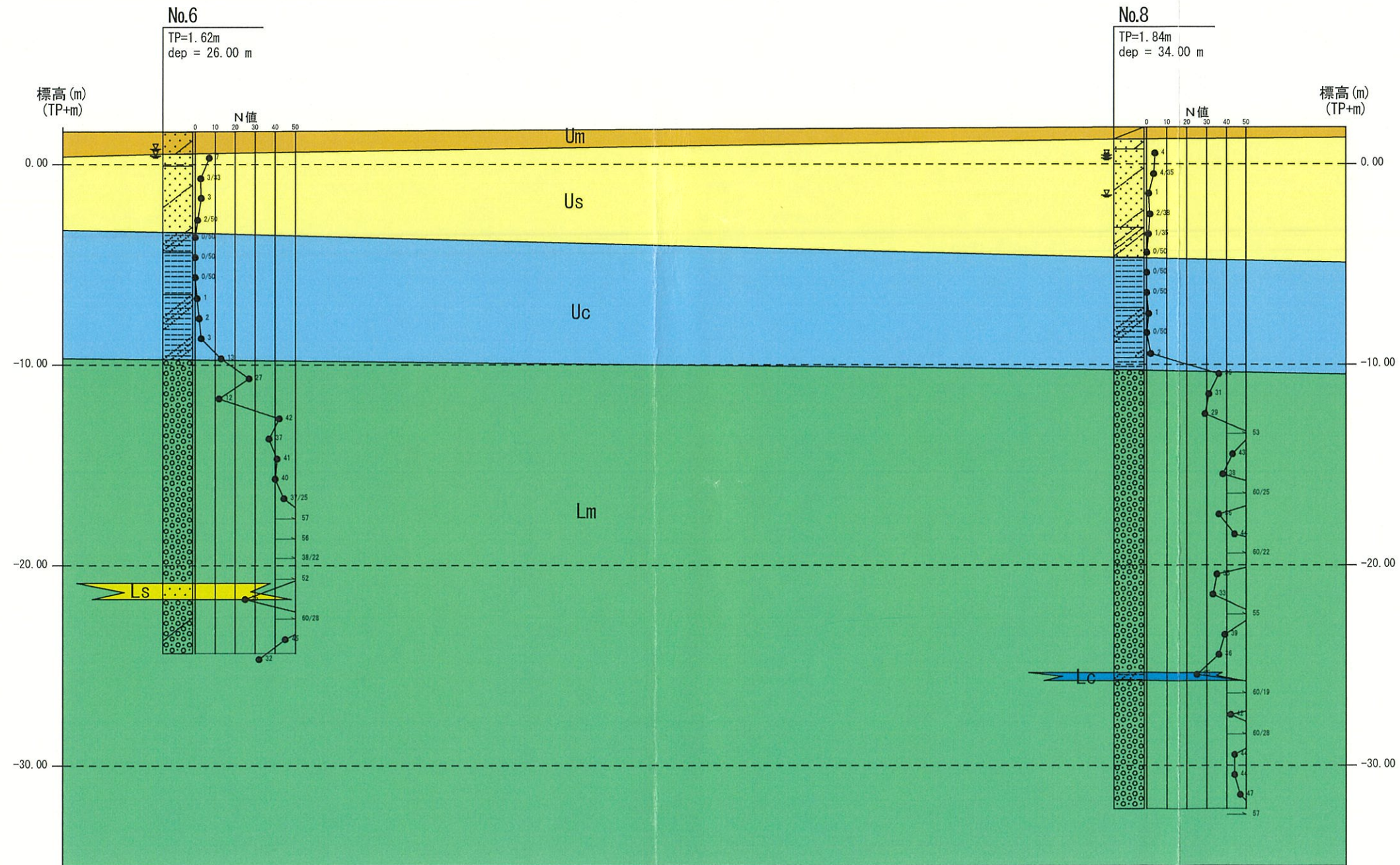
②-②' 推定地盤成層図

(SH=1:500 SV=1:250)



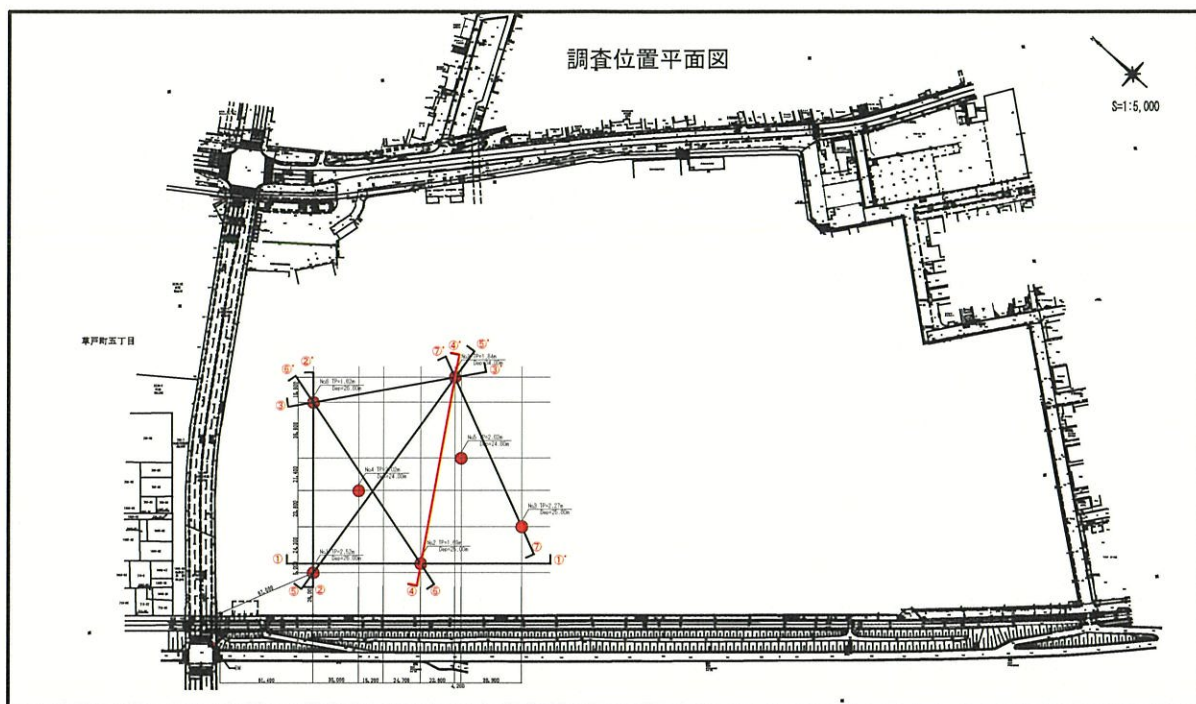
調査地の地盤構成図

地質時代	地質区分	記号	層相	層厚 (m)	N値(回)	
現生代	第四紀	沖積世	最上部層	Um	調査地の最上部層を構成する福山競馬場内の埋土で、マサ土や均一な細砂で構成される。	0.60~2.00 37 (1箇所のみ)
			上部砂層	Us	標高1.7~0.5m以深より分布する砂層で、芦田川の旧河道堆積層。細砂~粗砂からなり、貝殻片や有機物を混入。	3.90~6.05 0~15 (平均1~3)
		上部粘土層	Uc	標高-2.6~-5.1m以深より分布する粘性土で、貝殻片、有機物を混入する非常に軟質な粘性土。	3.30~6.35 0~3 (平均0~1)	
		下部砂層	Us	最下部層砂礫層との漸移層としてBorNo. 2~5地点で確認され、分布は局部的である。	0.55~2.15 0~9 (平均1~3)	
	洪積世	最下部層	Lm	芦田川の河床堆積層の砂礫で、マトリックスは粘土混り粗砂。礫はφ5~40mmの垂円礫主体。砂層や粘土層をレンズ状に不規則に挟む。	11.65~	12~60以上 (平均30~50程度) ばらついている



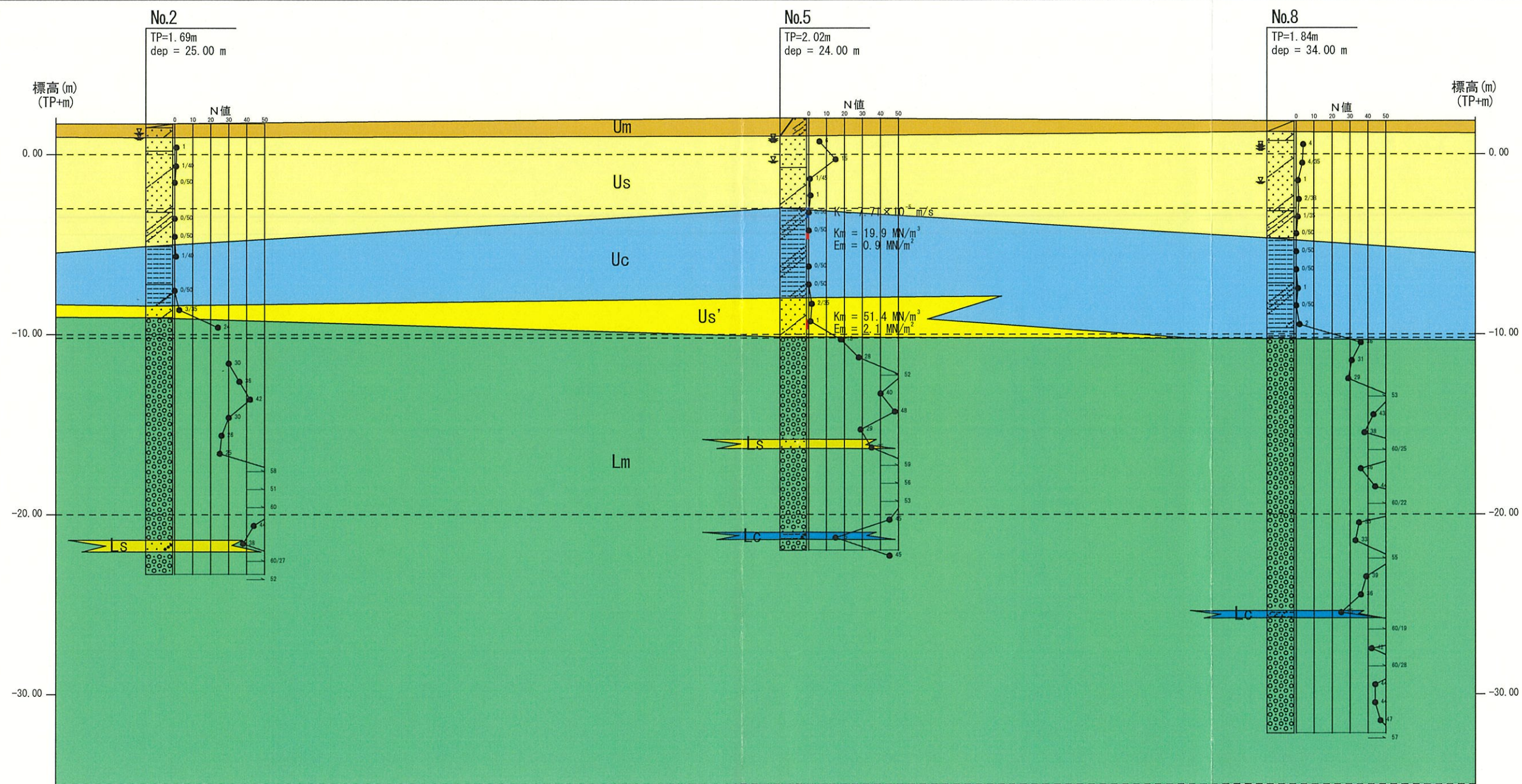
③-③' 推定地盤成層図

(SH=1:500 SV=1:250)



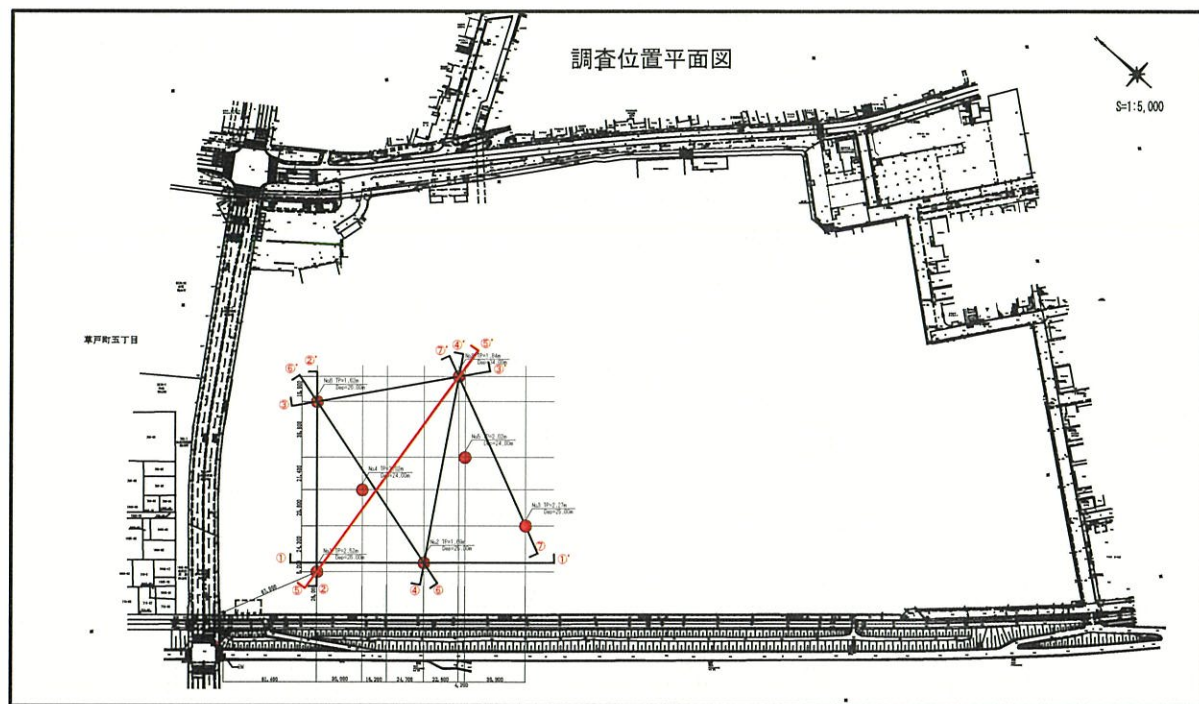
調査地の地盤構成図

地質時代	地質区分	記号	層相	層厚 (m)	N値(回)		
現生代	第四紀	沖積世	最上部層	Um	調査地の最上部層を構成する福山競馬場内の埋土で、マサ土や均一な細砂で構成される。	0.60~2.00	37 (1箇所のみ)
			上部砂層	Us	標高1.7~0.5m以深より分布する砂層で、芦田川の旧河道堆積層。細砂~粗砂からなり、貝殻片や有機物を混入。	3.90~6.05	0~15 (平均1~3)
			上部粘土層	Uc	標高-2.6~-5.1m以深より分布する粘性土で、貝殻片、有機物を混入する非常に軟質な粘性土。	3.30~6.35	0~3 (平均0~1)
			下部砂層	Us'	最下部層砂礫層との漸移層としてBorNo. 2~5地点で確認され、分布は局部的である。	0.55~2.15	0~9 (平均1~3)
		洪積世	最下部層	Lm	芦田川の河床堆積層の砂礫で、マトリックスは粘土混り粗砂。礫はφ5~40mmの亜円礫主体。砂層や粘土層をレンズ状に不規則に挟む。	11.65~	12~60以上 (平均30~50程度) ばらついている



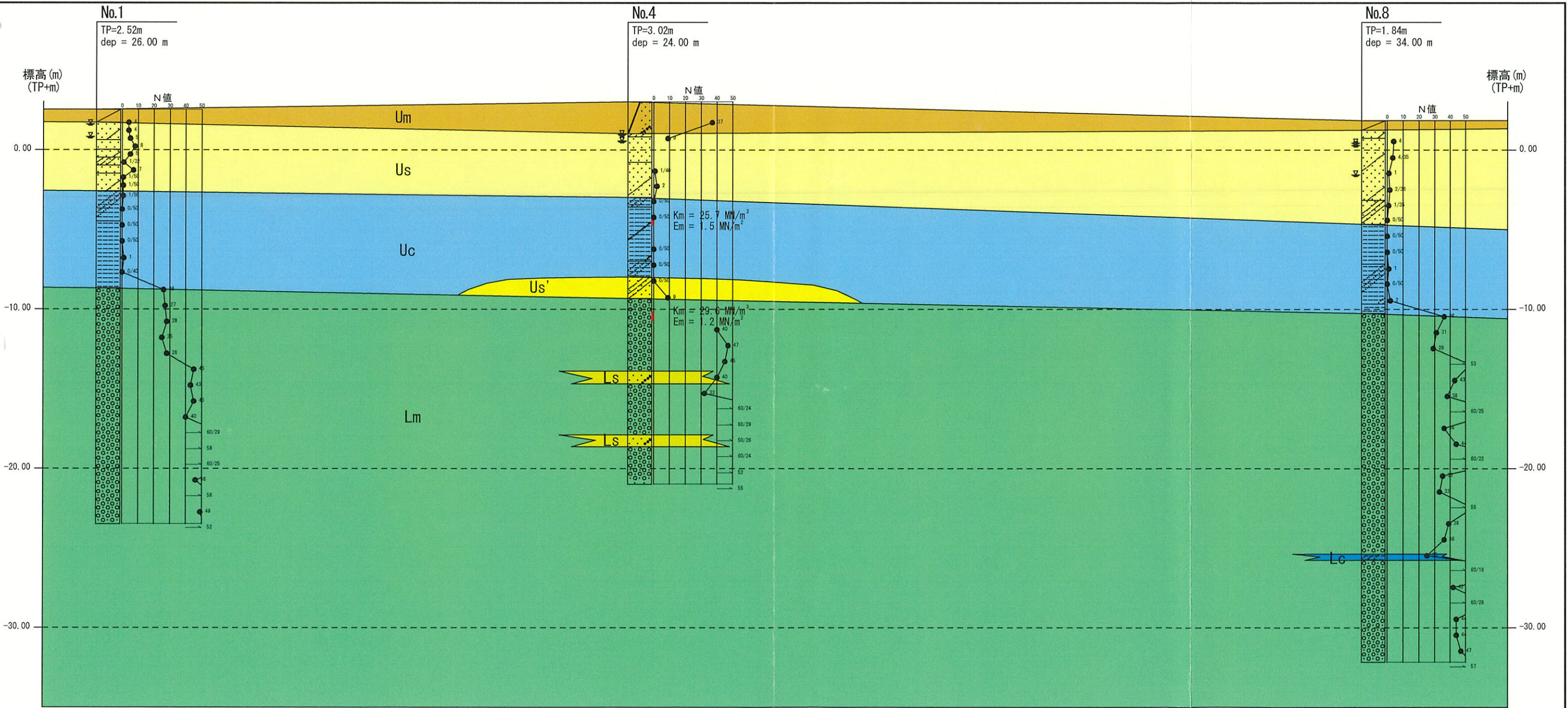
④-④' 推定地盤成層図

(SH=1:500 SV=1:250)

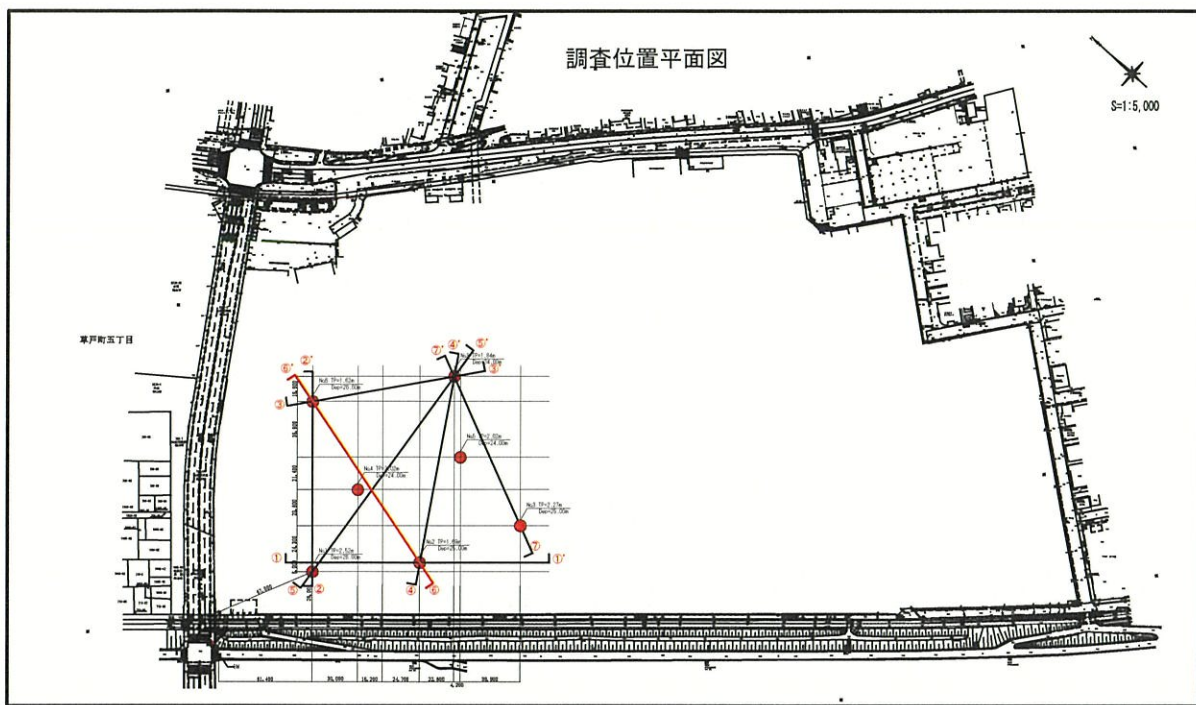


調査地の地盤構成図

地質時代	地質区分	記号	層相	層厚 (m)	N値 (回)	
現生代	第四紀	現世	最上部層	Um	調査地の最上部層を構成する福山競馬場内の埋土で、マサ土や均一な細砂で構成される。	0.60~2.00 37 (1箇所のみ)
		沖積世	上部砂層	Us	標高1.7~0.5m以深より分布する砂層で、芦田川の旧河道堆積層。細砂~粗砂からなり、貝殻片や有機物を混入。	3.90~6.05 0~15 (平均1~3)
			上部粘土層	Uc	標高-2.6~-5.1m以深より分布する粘性土で、貝殻片、有機物を混入する非常に軟質な粘性土。	3.30~6.35 0~3 (平均0~1)
			下部砂層	Us'	最下部層砂礫層との漸移層としてBorNo. 2~5地点で確認され、分布は局部的である。	0.55~2.15 0~9 (平均1~3)
	洪積世	最下部層	Lm	芦田川の河床堆積層の砂礫で、マトリックスは粘土混り粗砂。礫はφ5~40mmの垂円礫主体。砂層や粘土層をレンズ状に不規則に挟む。	11.65~ 12~60以上 (平均30~50程度) ばらついている	

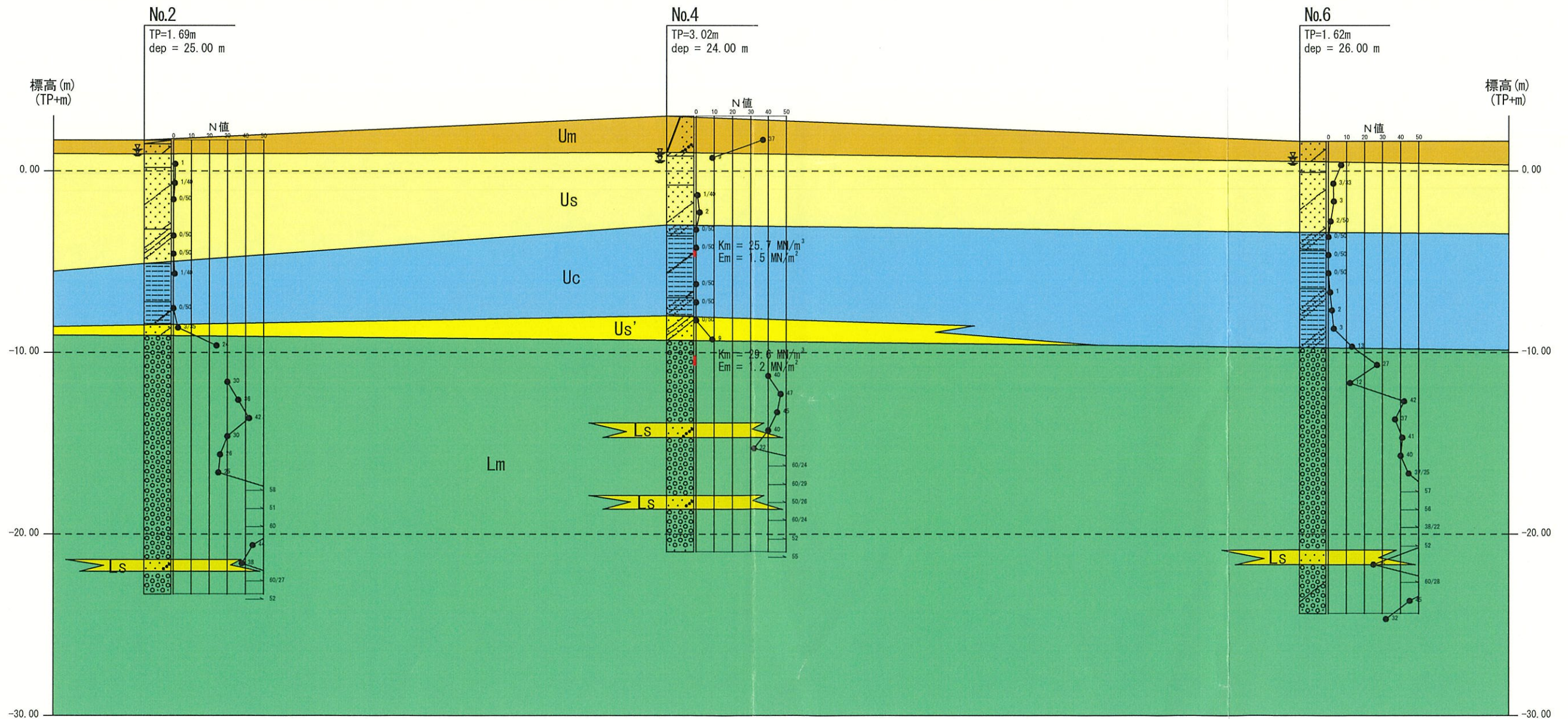


⑤-⑤' 推定地盤成層図 (SH=1:500 SV=1:250)



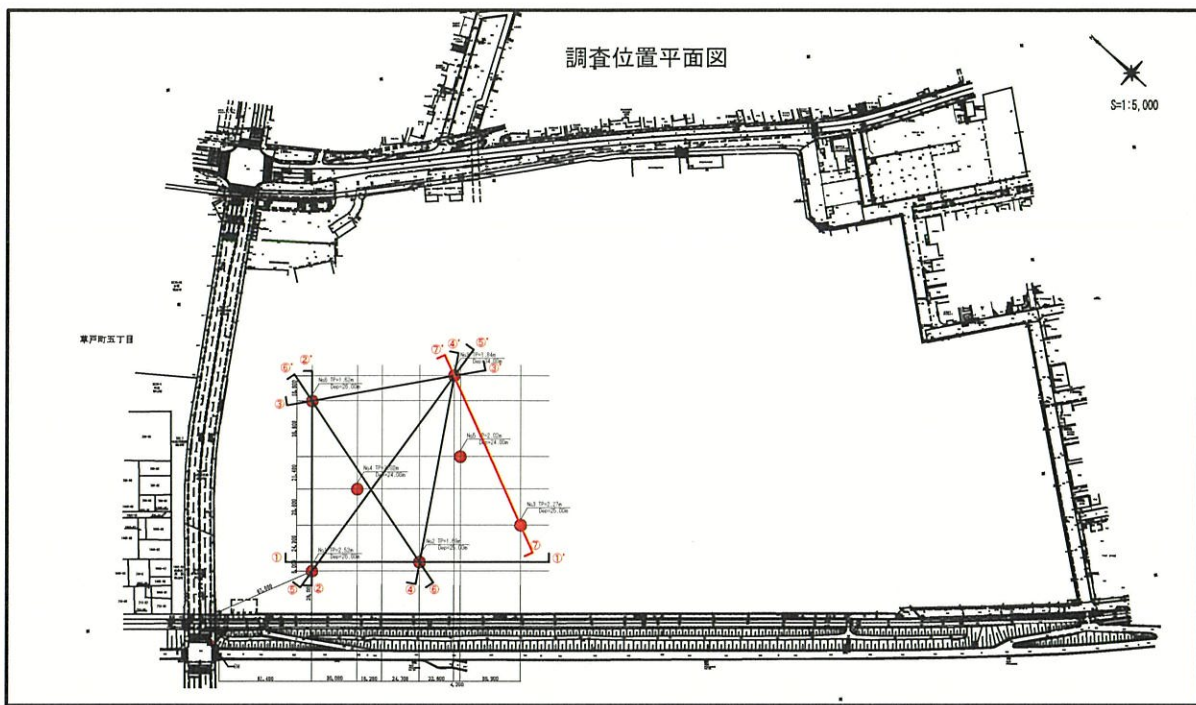
調査地の地盤構成図

地質時代	地質区分	記号	層相	層厚 (m)	N 値(回)	
現生代	第四紀 沖積世	最上部層	Um	調査地の最上部層を構成する福山競馬場内の埋土で、マサ土や均一な細砂で構成される。	0.60~2.00	37 (1箇所のみ)
		上部砂層	Us	標高1.7~0.5m以深より分布する砂層で、芦田川の旧河道堆積層。細砂~粗砂からなり、貝殻片や有機物を混入。	3.90~6.05	0~15 (平均1~3)
		上部粘土層	Uc	標高-2.6~-5.1m以深より分布する粘性土で、貝殻片、有機物を混入する非常に軟質な粘性土。	3.30~6.35	0~3 (平均0~1)
		下部砂層	Us'	最下部層砂礫層との漸移層としてBorNo. 2~5地点で確認され、分布は局部的である。	0.55~2.15	0~9 (平均1~3)
	洪積世	最下部層	Lm	芦田川の河床堆積層の砂礫で、マトリックスは粘土混り粗砂。礫はφ5~40mmの垂円礫主体。砂層や粘土層をレンズ状に不規則に挟む。	11.65~	12~60以上 (平均30~50程度) ばらついている



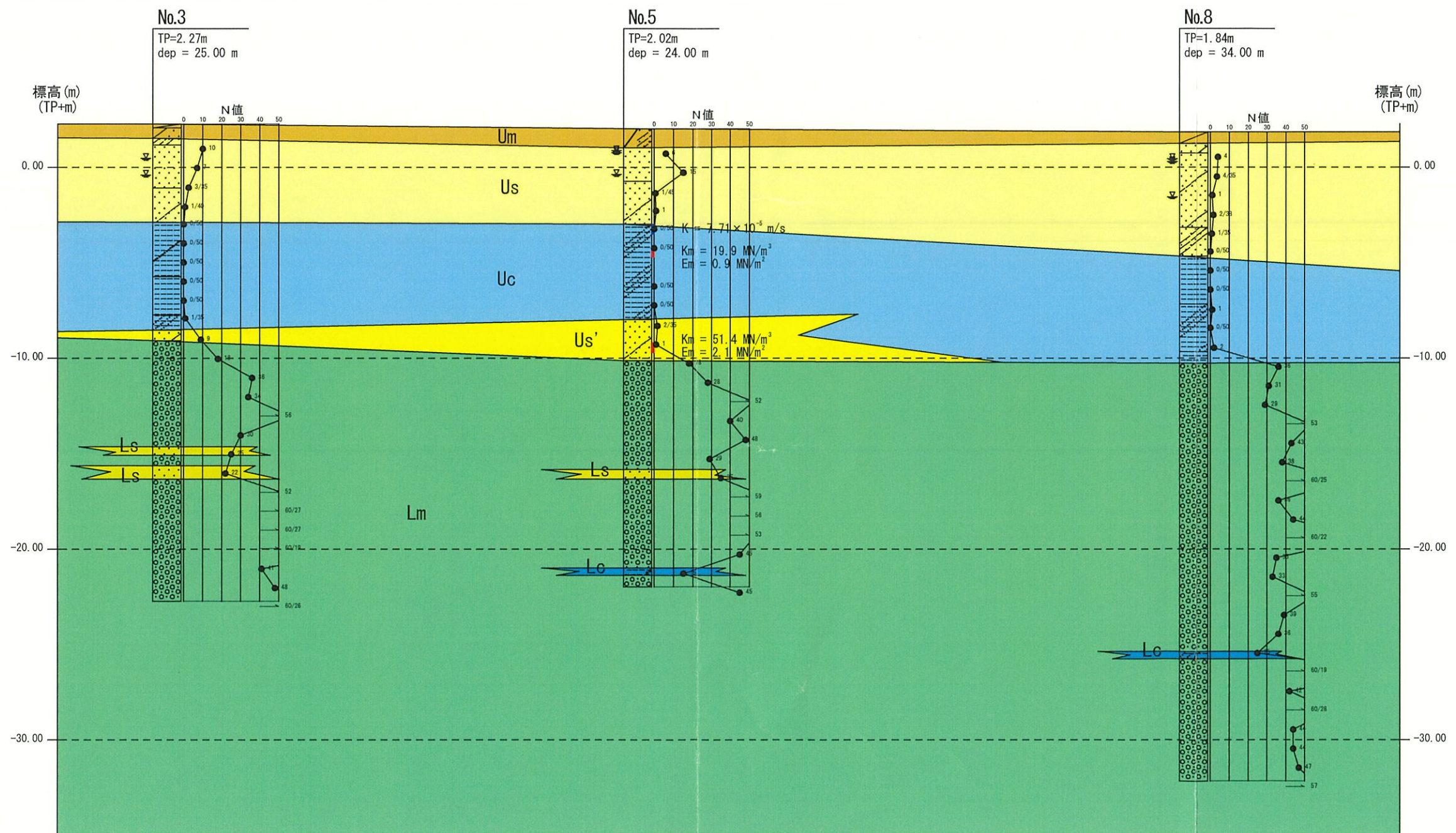
⑥-⑥' 推定地盤成層図

(SH=1:500 SV=1:250)



調査地の地盤構成図

地質時代	地質区分	記号	層相	層厚 (m)	N値 (回)	
現生代	第四紀	沖積世	最上部層	Um	調査地の最上部層を構成する福山競馬場内の埋土で、マサ土や均一な細砂で構成される。	0.60~2.00 37 (1箇所のみ)
		上部砂層	Us	標高1.7~0.5m以深より分布する砂層で、芦田川の旧河道堆積層。細砂~粗砂からなり、貝殻片や有機物を混入。	3.90~6.05 0~15 (平均1~3)	
		上部粘土層	Uc	標高-2.6~-5.1m以深より分布する粘性土で、貝殻片、有機物を混入する非常に軟質な粘性土。	3.30~6.35 0~3 (平均0~1)	
		下部砂層	Us'	最下部層砂礫層との漸移層としてBorNo. 2~5地点で確認され、分布は局部的である。	0.55~2.15 0~9 (平均1~3)	
	洪積世	最下部層	Lm	芦田川の河床堆積層の砂礫で、マトリックスは粘土混り粗砂。礫はφ5~40mmの垂円礫主体。砂層や粘土層をレンズ状に不規則に挟む。	11.65~ 12~60以上 (平均30~50程度) ばらついている	



ボーリング柱状図

調査名 福山市新総合体育館建設工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo. []

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	福山市千代田町1丁目地内			北緯	34° 27' 58.75"										
発注機関	福山市			調査期間	平成 28年 1月 30日 ~ 28年 2月 1日			東経	133° 21' 59.41"									
調査業者名	ダイホーコンサルタント株式会社 電話(084-931-5211)		主任技師	松葉幸夫		現場代理人	コア鑑定者 松葉幸夫		ボーリング責任者	高橋豊								
孔口標高	TP=2.52m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 東邦製 D1-C48型 エンジン ヤンマー製 TF-120M型		ハンマー落下用具	半自動落下		ポンプ	東邦製 BG-3C型	

標尺	高さ	層厚	深度	柱状	土質	色調	相対	相対	記号	標準貫入試験	原位置試験	試料採取			室内試験	掘進			
												深	採取方法				進		
													深	採取				日	
(m)	(m)	(m)	(m)	図	区分	調	度	度	事	(m)	(m)	(m)	号	方	法	(-)	(-)	(月)	(日)
1	1.72	0.80	0.80	表土	黄灰色	緩い	細、粗砂も混じり、粒径不均一 表層はコンクリート片を混入			1/30 0.65 0.95	1 1 2 4		0.65 0.95	P1-1 P1-2	◎ ◎				
2	0.62	1.10	1.90	粘土混じり砂	黄灰色	緩い	粒径均一な細砂である 一部、小礫を混入する			1.15 1.95	1 2 2 3		1.15 1.95	P1-3 P1-4	◎ ◎				
3	0.02	0.60	2.50	砂	黄褐色	緩い	細、粗砂も混じり、粒径不均一			2.15 2.45	2 2 4 3		2.15 2.45	P1-5 P1-6	◎ ◎				
4	-0.48	0.50	3.00	シルト混じり砂	黄灰色	緩い	細砂～中砂となる			2.95 3.15	1 2 2 3		2.95 3.15	P1-7 P1-8	◎ ◎				
5	-0.98	0.50	3.50	シルト質砂	青灰色	非常に緩い	非常に緩い砂層である 細砂から中砂主体			3.45 3.85	3 3 3 3		3.45 3.85	P1-9 P1-10	◎ ◎				
6	-1.48	0.50	4.00	砂	青灰色	緩い	細、粗砂も混じり、粒径不均一			4.00 4.50	1 1 1 1		4.00 4.50	P1-11 P1-12	◎ ◎				
7	-2.58	1.10	5.10	シルト混じり砂	青灰色	非常に緩い	砂は細～中砂主体 全体に含水多く、緩い			4.50 5.00	1 1 1 1		4.50 5.00	P1-13 P1-14	◎ ◎				
8	-4.48	1.90	7.00	砂質シルト	青灰色	非常に軟らかい	比較的均質な粘性土となる 全体に少量の貝殻片混入 砂層をパイプ状に挟む			5.15 5.65	1 1 1 1		5.15 5.65	P1-15 P1-16	◎ ◎				
9										6.00	ハンマー自沈		6.00	P1-17	◎				
10										6.50	ハンマー自沈		6.50	P1-18	◎				
11										7.00	ハンマー自沈		7.00	P1-19	◎				
12										7.50	ハンマー自沈		7.50	P1-20	◎				
13										8.00	ハンマー自沈		8.00	P1-21	◎				
14										8.50	ハンマー自沈		8.50	P1-22	◎				
15										9.15	1/30		9.15	P1-23	◎				
16										9.45	ハンマー自沈		9.45	P1-24	◎				
17										10.00	ハンマー自沈		10.00	P1-25	◎				
18										10.40	ハンマー自沈		10.40	P1-26	◎				
19										11.15	5 10 11 26		11.15	P1-27	◎				
20										11.45	26		11.45	P1-28	◎				
21										11.55	10 9 8 27		11.55	P1-29	◎				
22										12.15	27		12.15	P1-30	◎				
23										12.45	9 9 10 28		12.45	P1-31	◎				
24										13.15	28		13.15	P1-32	◎				
25										13.45	9 8 8 25		13.45	P1-33	◎				
26										14.15	25		14.15	P1-34	◎				
27										14.45	7 8 13 28		14.45	P1-35	◎				
28										15.15	28		15.15	P1-36	◎				
29										15.45	13 17 15 45		15.45	P1-37	◎				
30										16.15	30		16.15	P1-38	◎				
31										16.45	11 15 17 43		16.45	P1-39	◎				
32										17.15	43		17.15	P1-40	◎				
33										17.45	15 16 14 45		17.45	P1-41	◎				
34										18.15	45		18.15	P1-42	◎				
35										18.45	13 12 15 40		18.45	P1-43	◎				
36										19.15	30		19.15	P1-44	◎				
37										19.45	25 16 19 60		19.45	P1-45	◎				
38										20.15	60		20.15	P1-46	◎				
39										20.44	62		20.44	P1-47	◎				
40										21.15	17 17 24 58		21.15	P1-48	◎				
41										21.45	58		21.45	P1-49	◎				
42										22.15	18 30 12 60		22.15	P1-50	◎				
43										22.40	25		22.40	P1-51	◎				
44										23.10	17 13 16 46		23.10	P1-52	◎				
45										23.40	30		23.40	P1-53	◎				
46										24.10	20 22 16 58		24.10	P1-54	◎				
47										24.40	58		24.40	P1-55	◎				
48										25.10	15 15 19 49		25.10	P1-56	◎				
49										25.40	30		25.40	P1-57	◎				
50										26.10	17 17 18 52		26.10	P1-58	◎				
51										26.40	30		26.40	P1-59	◎				

1/30

2/1

ボーリング柱状図

調査名 福山市新総合体育館建設工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2		調査位置	福山市千代田町1丁目地内			北緯	34° 27' 57.17"					
発注機関	福山市			調査期間	平成28年2月1日～28年2月2日			東経	133° 22' 1.43"				
調査業者名	ダイホーコンサルタント株式会社 電話(084-931-5211)		主任技師	松葉幸夫		現場代理人	コア鑑定者 松葉幸夫		ボーリング責任者	岡武彦			
孔口標高	TP=1.69m	角	180°上 90°下	方	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		使用機種	試錐機 吉田製 YS0-1H型	ハンマー落下用具	半自動落下	
総掘進長	25.00m	度	0°	向	0°	エンジン	ヤンマー製NFD-12型		ポンプ	吉田製 SP-6型			

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験	掘進月日
										深 (m)	10cmごとの打撃回数 (0, 10, 20)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0, 10, 20, 30							
1.49	0.20	0.20	[Symbol]	表土	褐灰色			礫混じり砂となる	27.2 9.0 0.58	1.15	1/30	1/30	1		P2-1	○				
0.94	0.55	0.75	[Symbol]	粘土混じり砂	褐灰色			粒径均一な細砂である GL-0.70m附近より中砂となる レンガ・瓦片を混入		1.45			1							
0.19	0.75	1.50	[Symbol]	砂	褐灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂主体 若干のシルト分を混入		2.15	1/40	1/40	1		P2-2	○	粒度			
			[Symbol]	シルト混じり砂	暗灰色	非常に緩い		砂は細砂～中砂を主体とする 全層にわたり貝殻片を混入する 全体に含水多く、緩い砂層である		2.55			0		P2-3	○				
			[Symbol]	シルト質砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 腐植物を少量混入する 全体に含水多く、非常に緩い		3.00			0							
			[Symbol]	シルト	暗灰色	非常に軟らかい		比較的均質な粘性土となる 全体に貝殻片混入 腐植物を少量混入する 全体に含水多く、軟質である		3.50			0							
			[Symbol]	砂混じりシルト	暗灰色	非常に軟らかい		比較的均質な粘性土となる 所々に砂層をパイプ状に含む 有機物を少量混入する		5.00			0		P2-4	○				
			[Symbol]	シルト混じり砂	暗灰色	非常に緩い		砂は細砂～中砂主体 木片を混入する		5.50			0		P2-5	○	粒度			
			[Symbol]	砂	暗灰色	密な中ぐらい		礫はφ2~30mm程度の亜円礫が主体である マトリックスは中～粗砂を主体とする		6.00			0							
			[Symbol]	礫混じり砂	青灰色	密な		細、粗砂も混じり、粒径不均一 礫はφ2~25mm程度の亜円礫となる 全体に若干の粘土分を含む		6.50			0							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な		φ2~40mm程度の亜円礫を主体とする マトリックスは粘土混じり中粗砂となる 上部はやや粘土分を多く含む		7.15	1/40	1/40	1		P2-6	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				7.55			1							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				8.00			0		T2-2	①	単体			
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				8.80			0		P2-7	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				9.00			0							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				9.50			0		P2-8	○	粒度			
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				10.15	1/15	1/15	3							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				10.50	7/8	9/24	24		P2-9	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				11.15			24							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				11.45			24							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				13.15	11/10	9/30	30		P2-10	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				13.45			30							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				14.15	10/11	15/36	36		P2-11	○	粒度			
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				14.45			36							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				15.15	13/13	16/42	42		P2-13	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				15.45			42							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				16.15	11/9	10/30	30		P2-14	○	粒度			
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				16.45			30							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				17.15	10/8	8/26	26		P2-15	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				17.45			26							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				18.15	9/8	8/25	25		P2-16	○	粒度			
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				18.45			25							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				19.15	25/17	16/58	58		P2-17	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				19.45			58							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				20.15	17/16	18/51	51		P2-18	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				20.45			51							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				21.15	26/18	16/60	60		P2-19	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				21.45			60							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				22.15	15/13	16/44	44		P2-20	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				22.45			44							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				23.15	13/12	13/38	38		P2-21	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				23.45			38							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				24.15	25/20	15/60	60		P2-22	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				24.42			67							
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				25.15	14/13	25/52	52		P2-23	○				
			[Symbol]	砂	緑青～灰色	非常に密な				25.45			52							

ボーリング柱状図

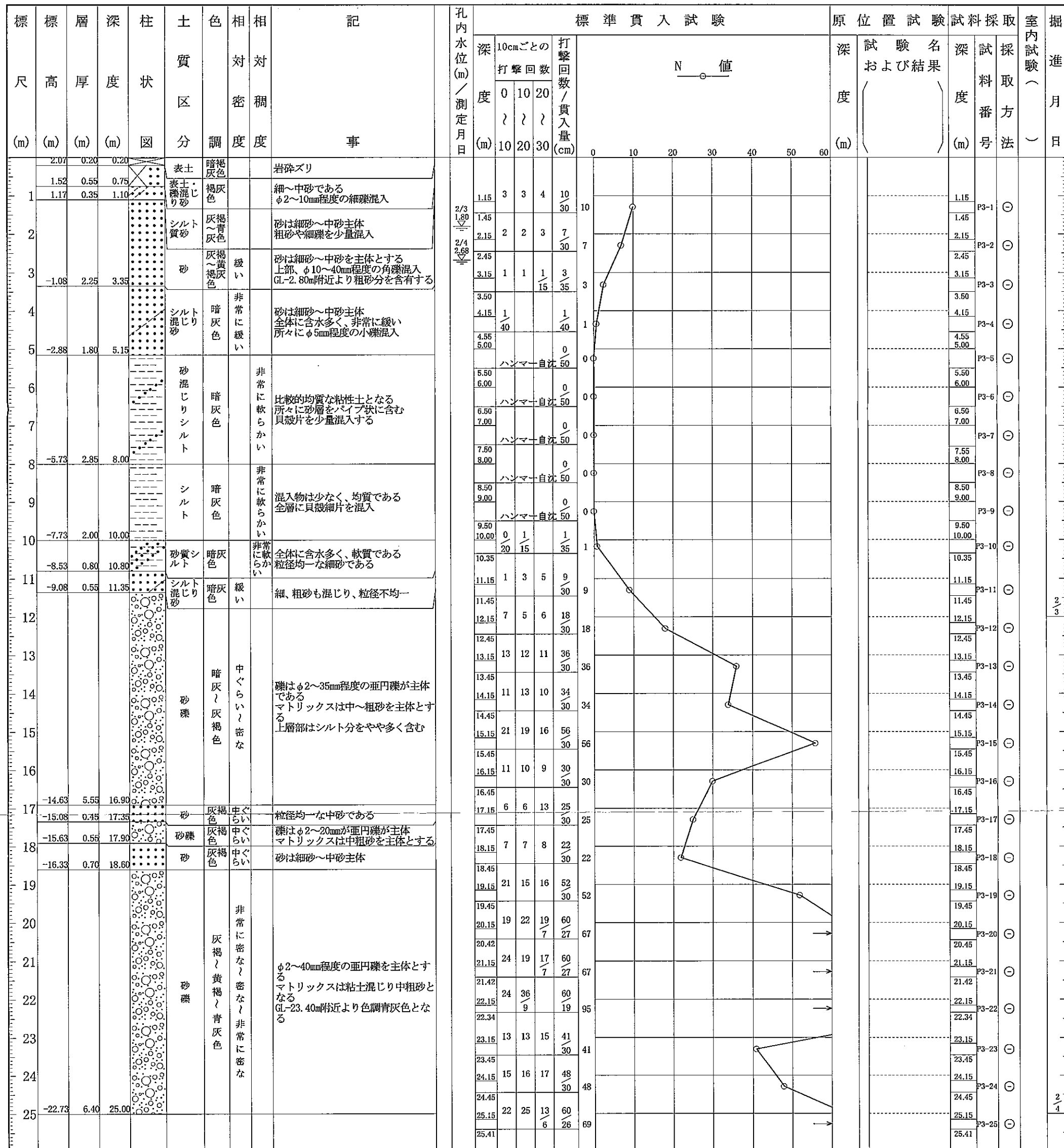
調査名 福山市新総合体育館建設工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 3	調査位置	福山市千代田町1丁目地内	北緯	34° 27' 56.05"
発注機関	福山市	調査期間	平成 28年 2月 3日 ~ 28年 2月 4日	東経	133° 22' 3.86"
調査業者名	ダイホーコンサルタント株式会社 電話 (084-931-5211)	主任技師	松葉幸夫	現場代理人	コア鑑定者 松葉幸夫
ボーリング責任者					岡 武彦
孔口標高	TP= 2.27m	角	180°上	方	北 0°
総掘進長	25.00m	度	90°	向	西 270° 東 90° 南 180°
使用機種		試錐機	吉田製 YSO-1H型	ハンマー落下用具 半自動落下	
エンジン		ヤンマー製 NFD-12型		ポンプ 吉田製 SP-6型	



ボーリング柱状図

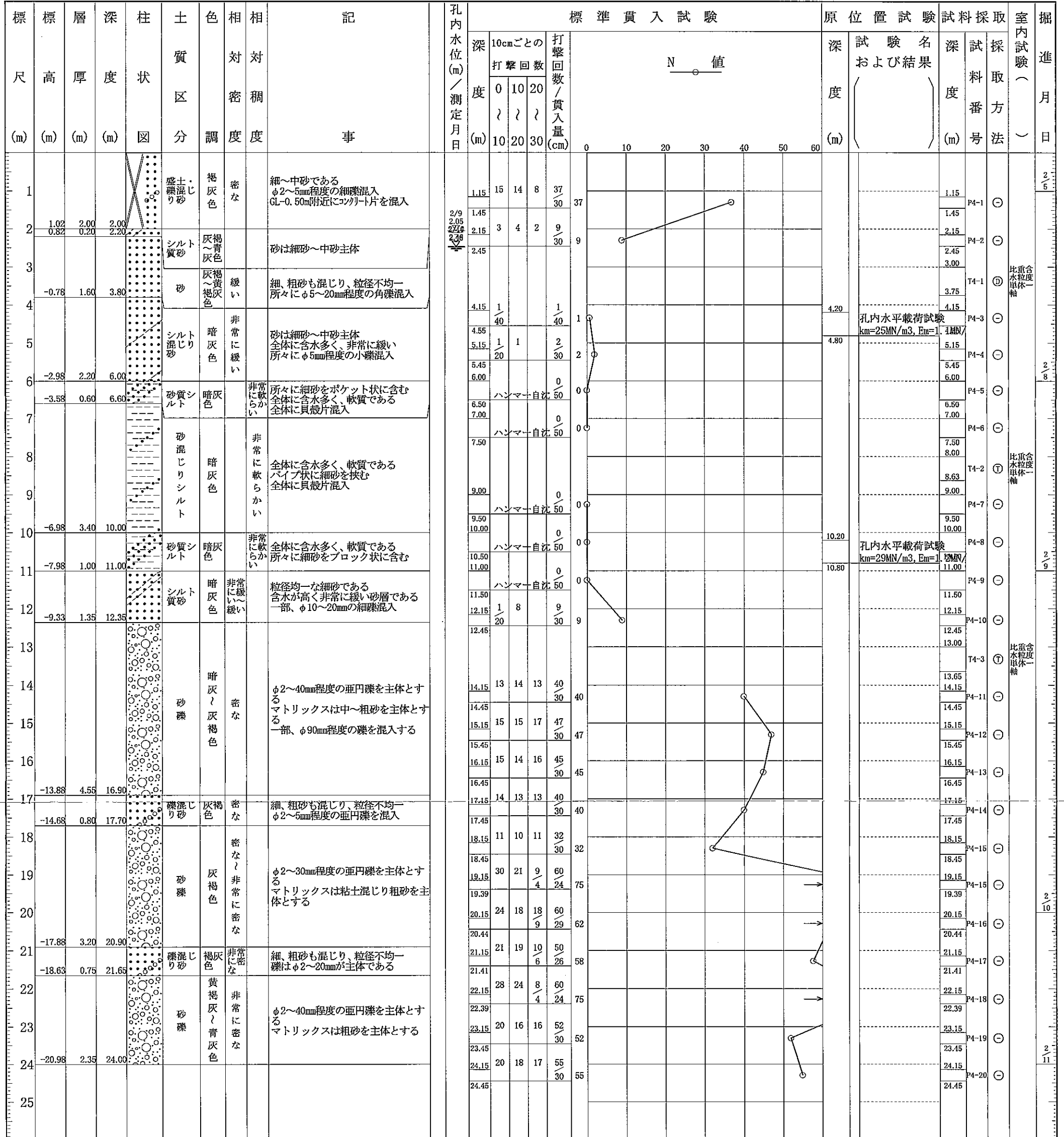
調査名 福山市新総合体育館建設工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 4	調査位置	福山市千代田町1丁目地内			北緯	34° 27' 59.18"									
発注機関	福山市			調査期間	平成28年2月5日～28年2月12日			東経	133° 22' 1.76"							
調査業者名	ダイホーコンサルタント株式会社 電話(084-931-5211)		主任技師	松葉幸夫		現代場代理人	コア鑑定者		松葉幸夫		ボーリング責任者	岡武彦				
孔口標高	TP=3.02m	角	180°	方	北0°	地盤勾配	使用機種		吉田製 YSO-1H型		ハンマー落下用具					
総掘進長	24.00m	度	90°	向	西180° 東90°	鉛直	エンジン		ヤンマー製 NFD-12型		ポンプ					
											半自動落下			吉田製 SP-6型		



ボーリング柱状図

調査名 福山市新総合体育館建設工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 5		調査位置	福山市千代田町1丁目地内			北緯	34° 27' 59.18"				
発注機関	福山市			調査期間	平成 28年 2月 12日 ~ 28年 2月 17日			東経	133° 22' 1.76"			
調査業者名	ダイホーコンサルタント株式会社 電話 (084-931-5211)		主任技師	松葉幸夫		現場代理人	コア鑑定者	松葉幸夫		ボーリング責任者	岡武彦	
孔口標高	TP=	2.02m	角	180°	上	90°	方	北 0°	270°	西	90°	東
総掘進長	24.00m		度	0°	下	0°	向	180°	南	地盤勾配	鉛直	90°
使用機種	吉田製 YSO-1H型			ハンマー	落下用具			半自動落下				
エンジン	ヤンマー製 NFD-12型			ポンプ	吉田製 SP-6型							

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日				
										深	10cmごとの打撃回数			N値					深	試験名	深	採取
(m)	(m)	(m)	(m)	(m)						(m)	0	10	20		30	(cm)	(m)	(m)				
1	1.02	1.00	1.00		盛土・シルト質砂	暗褐色			微細～細砂である 非常に不均質な状態にある GL-0.30mまでは岩砕	2/16 2/15	1.15	2	2	2	6	30	6		P5-1	○		
2					砂	灰褐色～褐色	緩い 中ぐら		細、粗砂も混じり、粒径不均一 上層部は細砂を主体とする	2/12 2/10	1.45	5	5	5	15	30	15		P5-2	○		
3	-0.73	1.75	2.75		シルト混じり砂	暗灰色	非常に緩い		砂は細砂～中砂主体 全体に含水多く、非常に緩い		3.15	1	1	1	1	45	1	透水試験 k=7.71E-5m/s	P5-3	○		
4					シルト混じり砂	暗灰色	非常に緩い		砂は細砂～中砂主体 全体に含水多く、非常に緩い		3.60	1	1	1	1	30	1		P5-4	○		
5	-2.98	2.25	5.00		砂質シルト	暗灰色	非常に緩い		所々に細砂をポケット状に含む 全体に含水多く、軟質である 全体に貝殻片混入		4.45				0	50	0	孔内水平載荷試験 Km=19MN/m3, Em=0.9MN/5.00	P5-5	○		
6					砂質シルト	暗灰色	非常に緩い		所々に細砂をポケット状に含む 全体に含水多く、軟質である 全体に貝殻片混入		5.50				0	50	0		P5-6	○		
7					砂質シルト	暗灰色	非常に緩い		所々に細砂をポケット状に含む 全体に含水多く、軟質である 全体に貝殻片混入		6.50				0	50	0		P5-7	○		
8					砂質シルト	暗灰色	非常に緩い		所々に細砂をポケット状に含む 全体に含水多く、軟質である 全体に貝殻片混入		8.00				0	50	0		P5-8	○		
9					砂質シルト	暗灰色	非常に緩い		所々に細砂をポケット状に含む 全体に含水多く、軟質である 全体に貝殻片混入		8.50				0	50	0		P5-9	○		
10	-7.98	5.00	10.00		シルト混じり砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		9.50	1	1	2	35	2	孔内水平載荷試験 Km=51MN/m3, Em=2.9MN/9.80	P5-10	○			
11					シルト混じり砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		10.15	1	1	1	15	2		P5-11	○			
12	-10.13	2.15	12.15		砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		10.50	1	1	1	30	1		P5-12	○			
13					砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		11.15	1	1	1	30	1		P5-13	○			
14					砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		11.45	5	6	7	18	30	18		P5-14	○		
15					砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		12.15	10	8	10	28	30	28		P5-15	○		
16					砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		13.15	18	17	17	52	30	52		P5-16	○		
17					砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		14.15	14	13	13	40	30	40		P5-17	○		
18	-15.83	5.70	17.85		砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		15.15	15	16	17	48	30	48		P5-18	○		
19	-16.33	0.50	18.35		砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		16.15	15	10	4	29	30	29		P5-19	○		
20					砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		17.15	7	8	20	35	30	35		P5-20	○		
21					砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		18.15	20	20	19	59	30	59		P5-21	○		
22					砂	暗灰色	非常に緩い		粒径均一な細砂である 全体に含水多く、緩い GL-11.0m以深よりφ2~25mm程度の礫を少量混入する		19.15	20	18	18	56	30	56		P5-22	○		
23	-20.98	4.65	23.00		礫混じり粘土	緑青灰色	硬い		礫はφ2~10mmが主体である 粘性大		20.15	19	16	18	53	30	53		P5-23	○		
24	-21.38	0.40	23.40		砂	緑青灰色	密な		礫はφ2~10mmが主体である 粘性大		21.15	13	11	21	45	30	45					
25	-21.98	0.60	24.00		砂	緑青灰色	密な		礫はφ2~30mm程度の歪円礫を主体とする マトリックスは粘土混じり中粗砂を主体とする		22.15	15	16	14	45	30	45					

ボーリング柱状図

調査名 福山市新総合体育館建設工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 6		調査位置	福山市千代田町1丁目地内				北緯	34° 28' 1.15"								
発注機関	福山市			調査期間	平成 28年 2月 9日 ~ 28年 2月 17日			東経	133° 22' 2.68"								
調査業者名	ダイホーコンサルタント株式会社 電話 (084-931-5211)		主任技師	松葉幸夫		現場代理人	コア鑑定者 松葉幸夫		ボーリング責任者	高橋豊							
孔口標高	TP=1.62m	角			方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	東邦製D1-C48型		ハンマー	落下用具		半自動落下
総掘進長	26.00m										エンジン	ヤンマー製TF-120M型		ポンプ	東邦製BG-3C型		

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	標準貫入試験										原位置試験	試料採取		掘進
										深 (m)	10cmごとの打撃回数			N 値	深 (m)	試験名	深 (m)	採取番号	方法		室内試験 (月日)		
											0	10	20										
	0.52	1.10	1.10		粘土混じり砂	黄灰色			細、粗砂も混じり、粒径不均一部、小礫を混入する上部、植物根有り	2/16 2/16	1.15	2	2	3	7/30	7			1.15	P6-1	◎	2/9	
	-0.08	0.60	1.70		砂	黄灰色	緩い		砂は細砂〜中砂主体	1.45	2.15	1/19	1/6	1/8	3/33	3			1.45	2.15	P6-2		◎
					シルト混じり砂	暗灰色	非常に緩い		細、粗砂も混じり、粒径不均一 GL-4.00m 附近より細砂を主体とする貝殻片混入	2.48	3.15	1	1	1	3/30	3			2.48	3.15	P6-3	◎	
					砂質シルト	青灰色	非常に軟らかい		微細砂〜細砂主体 全体に貝殻片混入	3.45	4.15	1	1		2/50	1			3.45	4.15	P6-4	◎	
	-3.38	3.30	5.00		砂質シルト	青灰色	非常に軟らかい		比較的均質な粘性土となる所々砂層をポケット状に含む貝殻片を少量混入	4.65	5.00				0/50	0			4.65	5.00	P6-5	◎	
	-4.38	1.00	6.00		シルト	青灰色	非常に軟らかい		砂質シルト	5.50	6.00				0/50	0			5.50	6.00	P6-6	◎	
					シルト	青灰色	非常に軟らかい		比較的均質な粘性土となる所々砂層をポケット状に含む貝殻片を少量混入	6.50	7.00				0/50	0			6.50	7.00	P6-7	◎	
	-6.48	2.10	8.10		砂質シルト	灰色	非常に軟らかい		粒径均一な微細〜細砂である全体に貝殻片混入 下層に微中砂を混入する	7.50	8.15	1/30			1/30	1			7.50	8.15	P6-8	◎	
					砂質シルト	灰色	非常に軟らかい		粒径均一な微細〜細砂である全体に貝殻片混入 下層に微中砂を混入する	8.45	9.15	1/17	1/13		2/30	2			8.45	9.15	P6-9	◎	
	-9.73	3.25	11.35		砂質シルト	灰色	非常に軟らかい		粒径均一な微細〜細砂である全体に貝殻片混入 下層に微中砂を混入する	9.45	10.15	1	1	1	3/30	3			9.45	10.15	P6-10	◎	
					砂質シルト	灰色	非常に軟らかい		粒径均一な微細〜細砂である全体に貝殻片混入 下層に微中砂を混入する	10.45	11.15	1	2	10	13/30	13			10.50	11.15	P6-11	◎	
					砂	黄灰色	中ぐらい〜非常に密な		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる GL-18〜20m 間少量の逸水有り	11.45	12.15	10	8	9	27/30	27			11.45	12.15	P6-12	◎	
					砂	黄灰色	中ぐらい〜非常に密な		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる GL-18〜20m 間少量の逸水有り	12.45	13.15	6	4	2	12/30	12			12.45	13.15	P6-13	◎	
					砂	黄灰色	中ぐらい〜非常に密な		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる GL-18〜20m 間少量の逸水有り	13.45	14.15	10	15	17	42/30	42			13.45	14.15	P6-14	◎	
					砂	黄灰色	中ぐらい〜非常に密な		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる GL-18〜20m 間少量の逸水有り	14.45	15.15	11	12	14	37/30	37			14.45	15.15	P6-15	◎	
					砂	黄灰色	中ぐらい〜非常に密な		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる GL-18〜20m 間少量の逸水有り	15.45	16.15	12	14	15	41/30	41			15.45	16.15	P6-16	◎	
					砂	黄灰色	中ぐらい〜非常に密な		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる GL-18〜20m 間少量の逸水有り	16.45	17.15	13	11	16	40/30	40			16.45	17.15	P6-17	◎	
					砂	黄灰色	中ぐらい〜非常に密な		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる GL-18〜20m 間少量の逸水有り	17.45	18.15	8	12	17/5	37/25	44			17.45	18.15	P6-18	◎	
					粘土混じり砂	青灰色	非常に密〜中ぐらい〜密		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる	18.40	19.15	32	15	10	57/30	57			18.45	19.15	P6-19	◎	
	-20.88	11.15	22.50		砂	青灰色			細、粗砂も混じり、粒径不均一混入物は少なく、均質である	19.45	20.15	19	20	17	56/30	56			19.45	20.15	P6-20	◎	
	-21.68	0.80	23.30		粘土混じり砂	青灰色	非常に密〜中ぐらい〜密		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる	20.45	21.15	10	12	16/2	38/22	52			20.45	21.15	P6-21	◎	
					砂	青灰色			細、粗砂も混じり、粒径不均一混入物は少なく、均質である	21.37	22.15	16	17	19	52/30	52			21.45	22.15	P6-22	◎	
	-24.38	2.70	26.00		粘土混じり砂	青灰色	非常に密〜中ぐらい〜密		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる	22.45	23.15	8	6	11	25/30	25			22.45	23.15	P6-23	◎	
					粘土混じり砂	青灰色	非常に密〜中ぐらい〜密		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる	23.45	24.15	6	28	26/8	60/28	64			23.45	24.15	P6-24	◎	
					粘土混じり砂	青灰色	非常に密〜中ぐらい〜密		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる	24.43	25.15	15	14	16	45/30	45			24.43	25.15	P6-25	◎	
					粘土混じり砂	青灰色	非常に密〜中ぐらい〜密		礫はφ5〜30mm程度の亜円礫が主体であるマトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする部分的に礫量が減少する箇所が認められる	25.45	26.15	12	10	10	32/30	32			25.45	26.15	P6-26	◎	
									26.45										26.45				

ボーリング柱状図

調査名 福山市新総合体育館建設工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 8		調査位置	福山市千代田町1丁目地内			北緯	34° 27' 59.24"			
発注機関	福山市			調査期間	平成 28年 2月 2日 ~ 28年 2月 3日			東経	133° 22' 5.60"		
調査業者名	ダイホーコンサルタント株式会社 電話(084-931-5211)		主任技師	松葉幸夫		現場代理人	コア鑑定者 松葉幸夫		ボーリング責任者	高橋豊	
孔口標高	TP=1.84m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総掘進長	34.00m		使用機種	東邦製D1-C48型			ハンマー落下用具	半自動落下			
			エンジン	ヤンマー製TF-120M型			ポンプ	東邦製BG-3C型			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				N値	原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進
									深	10cmごとの	打撃回数	打撃回数/貫入量						
1	1.24	0.60	0.60	表土	黄灰色			花崗岩起源のマサ土による盛土砂は細砂~中砂主体	1.15	1	1	2	4/30	4		P8-1	○	
	0.74	0.50	1.10	粘土混じり砂	黄灰色			粒径均一な細砂である一部、小礫を混入する	1.45	2	1	1	4/35	3		P8-2	○	
2				シルト	暗灰色		非常に緩い	細砂~中砂となる	2.50	1			1/30	1		P8-3	○	
				シルト混じり砂	暗灰色			GL-2.00m附近より粗砂を混入する	3.15	1			1/30	1		P8-3	○	
				シルト	暗灰色		非常に緩い	GL-4.50mの箇所に玉石を混入する	3.45	1	1	1	2/38	2		P8-4	○	
				シルト	暗灰色		非常に緩い	非常に緩い砂層である	4.15	1			1/35	1		P8-5	○	
				質砂	暗灰色		非常に緩い	細砂~中砂主体	5.15	35			0	0		P8-5	○	
				シルト	暗灰色		非常に緩い	全体に貝殻片混入	6.00				0	0		P8-6	○	
				シルト	暗灰色		非常に緩い	比較的均質な粘性土となる	6.50				0	0		P8-7	○	
				シルト	暗灰色		非常に緩い	所々砂層をポケット状に含む	7.00				0	0		P8-7	○	
				シルト	暗灰色		非常に緩い	貝殻片を少量混入	7.50				0	0		P8-8	○	
				シルト	暗灰色		非常に緩い	GL-7.00m付近に有機物を混入する	8.00				0	0		P8-8	○	
				砂質シルト	青灰色		非常に軟らかい	粒径均一な細砂である	8.50	1			1/30	1		P8-9	○	
				砂質シルト	青灰色		非常に軟らかい	全体に貝殻片混入	9.15	30			0	0		P8-9	○	
				粘土	褐灰色			有機物を多量混入する	9.45				0	0		P8-10	○	
				粘土	褐灰色				10.00				0	0		P8-10	○	
				粘土	褐灰色				10.50	1	1	2	2/30	2		P8-11	○	
				粘土	褐灰色				11.15				0	0		P8-11	○	
				粘土	褐灰色				11.45	11	12	13	36/30	36		P8-12	○	
				砂	青灰色		中ぐらゐり密な	礫はφ5~30mm程度の亜円礫が主体である	12.45	11	11	9	31/30	31		P8-13	○	
				砂	青灰色		非常に密な	マトリックスは粘土混じり粗砂を主体とする	13.45	9	9	11	29/30	29		P8-14	○	
				砂	青灰色		非常に密な	部分的に礫量が減少する箇所が認められる	14.15	9	9	11	29/30	29		P8-14	○	
				砂	青灰色		非常に密な	GL-17~18m間少量の逸水有り	14.45	15	20	18	53/30	53		P8-15	○	
				砂	青灰色		非常に密な	GL-25.0m附近よりφ60mm程度の礫を混入する	15.45	15	15	13	43/30	43		P8-16	○	
				砂	青灰色		非常に密な		16.45	12	14	12	38/30	38		P8-17	○	
				砂	青灰色		非常に密な		17.15	22	26	12	60/25	72		P8-18	○	
				砂	青灰色		非常に密な		18.15	12	12	12	36/30	36		P8-19	○	
				砂	青灰色		非常に密な		18.40	12	12	12	36/30	36		P8-19	○	
				砂	青灰色		非常に密な		19.15	16	16	12	44/30	44		P8-20	○	
				砂	青灰色		非常に密な		20.45	18	34	8	60/22	82		P8-21	○	
				砂	青灰色		非常に密な		21.15	11	10	14	35/30	35		P8-22	○	
				砂	青灰色		非常に密な		21.37	11	11	11	33/30	33		P8-23	○	
				砂	青灰色		非常に密な		22.45	15	20	20	55/30	55		P8-24	○	
				砂	青灰色		非常に密な		23.15	13	12	14	39/30	39		P8-25	○	
				砂	青灰色		非常に密な		24.45	14	9	13	36/30	36		P8-26	○	
				砂	青灰色		非常に密な		25.45	10	9	6	25/30	25		P8-27	○	
				砂	青灰色		非常に密な		26.45	27	33	9	60/19	95		P8-28	○	
				砂	青灰色		非常に密な		28.15	14	12	16	42/30	42		P8-29	○	
				砂	青灰色		非常に密な		28.34	24	20	16	60/28	64		P8-30	○	
				砂	青灰色		非常に密な		29.45	13	14	17	44/30	44		P8-31	○	
				砂	青灰色		非常に密な		30.43	14	14	16	44/30	44		P8-32	○	
				砂	青灰色		非常に密な		31.15	15	16	16	47/30	47		P8-33	○	
				砂	青灰色		非常に密な		32.15	14	19	24	57/30	57		P8-34	○	
				砂	青灰色		非常に密な		33.45				0	0		P8-34	○	
				砂	青灰色		非常に密な		34.15				0	0		P8-34	○	
				砂	青灰色		非常に密な		34.45				0	0		P8-34	○	